

令和 5 年度(2023 年度)「中学校給食に関するアンケート」調査結果(概要版)

【実施目的】

豊中市では、令和 4 年度(2022 年度)2 学期より市立中学校で、全員給食を開始したことから、今後の事業展開の参考とするため、生徒・保護者・教職員の意見をアンケートにより調査するもの。

【対象者】

豊中市立中学校に在籍する生徒、保護者、教職員

【調査時期】

令和 5 年(2023 年)10 月

【調査方法】

オンラインによるアンケートを実施

保護者には、コドモンで周知及び依頼。

【対象者数と回答率】

	生徒	保護者	教職員
対象者数	9,889 人	※5,033 人	786 人
回答者数	7,432 人	2,823 人	291 人
回答率	75.2%	56.1%	37.0%

※保護者対象者数は、コドモンで案内を送付し、既読になった人数を記載

【概要】

○満足度

		生徒	保護者	教職員
全員給食になって良かった	R4	22%	74%	34%
	R5	27%	83%	49%
給食が好き(生徒自身)	R4	26%	27%	13%
	R5	29%	34%	17%

前年度と比較し、全ての対象で、満足度が向上している。しかしながら、生徒の数値は依然 20%台である。

○苦手・残している理由

※数値は、苦手・残している理由の平均値を記載。

		生徒	保護者	教職員
冷めている(冷たい)	R4	18.5%	23.5%	20.5%
	R5	17.5%	22%	21%
味付けが好みではない	R4	18.5%	28%	22%
	R5	19.5%	30.5%	20%
苦手なものが入っている	R4	16.5%	13.5%	21%
	R5	19%	16%	20.5%

前年度と同様、全ての対象者の回答上位が、「冷めている(冷たい)」「味付けが好みではない」「苦手なものが入っている」の3つになっている。

○量について

		生徒	保護者	教職員
多い	R4	35%	19%	32%
	R5	37.3%	17%	-
ちょうどいい	R4	48%	48%	33%
	R5	48.7%	57.5%	-
少ない	R4	17%	24%	35%
	R5	14%	25.5%	-

※R5年度は、教職員に量についての調査は行わず。数値は、ご飯、副食などの平均値を記載
生徒・保護者の約50%が、「ちょうどいい量である」と回答しているが、特に保護者の数値が前年度より増えている。

生徒は次に「多い」という回答が約37%で、「少ない」は14%と、前年度より「多い」と感じている生徒が増えているが、保護者では、「多い」という回答が減少し、「少ない」が増えている。

○今後の給食に対する希望

		生徒	保護者	教職員
現在と同じ給食	R4	43%	30%	39%
	R5	41%	32%	43%
小学校と同じ給食	R4	38%	56%	31%
	R5	40%	58%	35%
その他	R4	19%	14%	30%
	R5	19%	10%	22%
パンの提供希望		79%	調査なし	72%
ご飯のみで良い		21%	調査なし	28%

※R5は、パンの提供を開始したため、パン提供についての調査は行わず。

生徒は、前年度より「現在と同じ給食」が減少し、「小学校と同じ給食」が増えている。保護者と

教職員では、それぞれが同じ割合で増加し、「その他」が減少している。

保護者は特に 58%が「小学校と同じ給食」を希望しており、生徒・保護者・教職員の平均をみると、「小学校と同じ給食」の希望が高くなっている。

「その他」は、弁当持参希望者が多く含まれている。

【まとめ】

給食への満足度は依然高いとは言えないが、前年度と比較すると向上している。

苦手・残す理由としてあがっている上位の 3 つは前年度から変化がないため、大きな課題と捉え、改善するための検討を行う必要がある。

量について、「多い」と答えている生徒が多いという事から、残菜が多くでている事が推測されるため、バランスの良い食事を残すことなく食べてもらえるよう、食育などにも力を入れる必要がある。

今後も定期的にアンケートなどを実施し、改善を図りながら、中学校給食の満足度を高め、おいしく食べてもらえる給食を提供していく必要がある。